

「百人一首」教材を活用した、知的障害特別支援学校における「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の試み

○居石俊二¹⁾

島山富士雄¹⁾

久野建夫²⁾

(佐賀県立大和特別支援学校¹⁾)

(佐賀駅南クリニック²⁾)

KEY WORDS: 国語の指導、アクティブ・ラーニング、次期特別支援学校学習指導要領

I. 背景

次期特別支援学校学習指導要領では、アクティブ・ラーニングの考え方が「主体的・対話的で深い学び」として示されている。知的障害特別支援学校での「百人一首」の指導において、アクティブ・ラーニングに沿った電子黒板教材を作成し、授業改善を試みた。その結果を報告する。

II. 目的

「百人一首」の指導において、話し合い活動の導入と電子黒板教材活用によりアクティブ・ラーニングに沿った授業改善を試み、その効果を検討する。

III. 方法

1 授業の詳細 (1)対象生徒: Y 特別支援学校中学部 2 年生 2 学級合同で、10 名中の障害程度が比較的軽い 5 名を対象とした。教師 2 名。(2)期間: 3 学期 13 日間の単元「百人一首を楽しもう」週 3~4 回 9:45~10:25 で行う。(3)学習内容: ①百人一首の 10 首を、上の句から提示し説明。②全員で復唱。③一人ずつ復唱。④途中の一部を隠して、生徒が回答。⑤全員と個別に復唱。⑥意味がつかめない語句について質問や話し合い。⑦視写。⑧最後に、背景や分からない語句等の質疑を含めた話し合い。

2 アクティブ・ラーニングの 6 条件(Johanson による、涌井 2016、以下で「6 条件」と略す)に沿って百人一首の授業の方法・内容を検討し、改善点を洗い出す。

3 生徒の態度、変容を観察する。

4 次の計 20 項目のチェックリストを用い、単元の前と後で確認する。(1)国語の力に関する 5 項目。(2)百人一首に関する 6 項目。(3)6 条件が実現されたかを問う 6 項目。(4)話し合い活動 3 項目。

IV. 結果

1-2 6 条件に基づいて検討し、改善点を明らかにした。電子黒板教材を作成、使用した(佐原 2008 を参考にした)。さらに、「話し合い活動の充実」を導入した。視写前と振り返り時に計 10 分程度自分の感想や不明な点について話し合う。電子黒板教材の一部を、図 1 に示す。

3 話し合い活動では、和やかな雰囲気では生徒の意見や感想を引き出したことが観察された。

4 6 条件に関するチェックリストを表 1 に示す。今回の授業改善でどの項目も単元後に伸びた。これとは別に国語科の 5 観点のチェックでも平均が 0.3、百人一首の 6 観点も 1.0 上昇した。



図 1 電子黒板教材の一部

V 考察

今回、百人一首の授業で主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を試みた。本授業以前には、生徒の側から意見を出す場面はなく、与えられた課題をこなす授業形態であった。しかし今回、生徒の対面的なやり取りを意識し、生徒たちに不明な語句等の質問を必ず問うよう呼び掛けたところ、拙いながらもそれに応じようと質問を出す中で、生徒たちは友達の見解にも真摯に向き合い、自分なりの予想を出すなど対話的な学びに近づくことができた感がある。

電子黒板教材で語句を視覚的にイメージしやすくなり、生徒の質疑も増えた。言語的能力だけに頼らないことから個々の意欲も伸び、生徒の質疑も増えたと考える。平仮名拾い読みレベルの生徒も語句の理解ができ、歌を暗記できるまでになるなど学習効果を高めることができた。

(文献)

佐原恒一郎(2008):日本教育情報学会第 24 回年会報告集, 112-115.

島山富士雄・久野建夫他(2015a):佐賀大学文化教育学部研究論文集第 19 集第 2 号, 15 - 35.

島山富士雄・久野建夫他(2015b):日本特殊教育学会第 53 回大会, P4-3.

涌井恵(2016):. LD 研究第 25 巻第 4 号, 398-405.

(倫理的配慮)個人情報保護等の必要な倫理的配慮を行った。

(SUEISHI Syunji, HATAKEYAMA Fujio, KUNO Tateo)

表 2 チェックリスト項目ごとの単元前後の評価平均値

アクティブ・ラーニングの 6 条件	質問事項	単元前	単元後	増減
1 互恵的相互依存関係	学習のめあてや教材、役割分担等に互恵的相互依存があったか	3.0	3.2	+0.2
2 生徒の対面的なやりとり	生徒同士の対面的なやりとりが十分あったか	2.2	4.2	+2.0
3 個人の責任がはっきりしている	百人一首の目標に向かって責任を持って取り組んだか	3.0	3.2	+0.2
4 ソーシャルスキルや共同作業のスキル	ソーシャルスキルや共同のスキルが教えられ頻繁に活用できる状況設定がなされたか	3.0	4.0	+1.0
5 2 学級での国語の学習全体の振り返り	どのような共同作業がうまくいったか、また、2 学級での百人一首の授業の振り返りがなされたか	3.0	4.0	+1.0
6 (発達障害等に対応し学習や教材を)言語的能力に偏らない	マルチ知能を活用し学習活動や教材を言語的能力だけに頼らなかったか	2.2	4.0	+1.8

1:あてはまらない 2:あまりあてはまらない 3:どちらでもない 4:概ねあてはまる 5:あてはまる、5 段階回答の平均値を算出し示した。